

## 国際会議から

## COMPRAIL 2014

COMPRAILは鉄道へのコンピューター技術応用に関する国際会議で、1987年の初回以来概ね2年おきに開催されており、今年のローマ開催で14回目を迎えます。

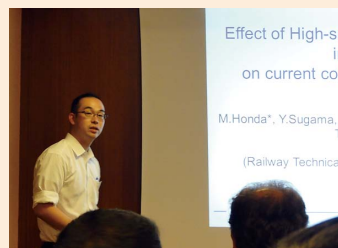
この会議は日本人比率の高い国際学会と言われており、今回も参加者117名のうち30名が日本からの参加者でした。発表はすべて口頭形式で、シミュレーションの構築手法や技術検討例の紹介のほか、実際の設備保全データを用いたビッグデータ分析、鉄道事業者による運行管理の改善策とその効果検証など、分野を問わず幅広い報告がなされています。筆者は実測した新幹線トンネル内の風速を用いた精度の良い架線・パンタグラフシミュレーションの結果を報告し、ドイツと中国の参加者からコメントをいただきました。会場が狭かったせいか、とてもアットホームな雰囲気だったのが印象に残っています。



ローマの路面電車



学会会場のホテル



本田誠彦  
電力技術研究部  
電車線構造研究室  
研究員

学会会場はコロッセオやバチカン市国などの有名観光地から少し離れた市街地にあり、ローマの日常風景が感じられる場所でした。会場近くにはトロリーバスや古い路面電車が走り、日本では見ないような珍しい車両を見ることができました。

正式名称：The 14th International conference on Railway Engineering Design and Optimization (COMPRAIL 2014)

開催国：イタリア(ローマ)

期間：2014/6/24-26

主催：Wessex Institute of Technology, UK

開催頻度：概ね2年に1回

次回開催予定：未定

ホームページURL：<http://www.wessex.ac.uk/14-conferences/comprail-2014.html>